

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標 9月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘



- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

更新中

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

今年の夏は

校長 中嶋 弘喜

長くて短い夏休みが終わりました。7月の最後の朝会では、真夏日の連続記録について話したのですが、夏休みに入ってから、それまでの天候が一転、雨の日が多く、気温も低い日が多くなりました。また、台風や集中豪雨に見舞われ、甚大な災害となった地域もありました。被災地の一刻も早い復旧復興を心からお祈り申し上げます。

夏休みの間、大きな事故もなく、子どもたちは元気な姿で登校してくれました。保護者の皆様、地域の皆様には、安全なまちづくりや夏休みの思い出づくりのために、様々な取り組みをしていただきました。子どもたちの健やかな成長と楽しく有意義な夏休みを過ごせたこと感謝申し上げます。

学校だよりで自分の夏休みの思い出を話題にしようと思い、とりあえず卒業した小学校のことをネットで調べてみました。すると、その学校は5年前に隣接校と合併して、別の名前の小学校になっていました。その合併した学校は、私が5年生に進級した時に児童数増で新設校として分校となった小学校でした。

私の通っていた小学校は、明治8年創立の歴史ある学校でしたが、当時児童数1000人を超す大規模校となり、新たに小学校を新設して二つに分かれました。親校に残る立場の私は、新しい校舎で施設も充実している新設校を大変羨ましく思っていました。また、それまで仲のよかった友達とも学校が別々になったことで疎遠になってしまったことは、子どもながら、残念に感じていました。

少子化の流れの中、今度は児童の数が減少し、統合された時の児童数は合わせても300人に満たない数になっていました。その地域では、児童数が7割以上も減少したことになります。地域社会において、子どもの数が減少していくことは、様々な変化と問題が発生しているのではないかと推測されます。小学校卒業後、横浜に転居した私ですが、どのようなまちづくりをしているのか、少し気になるところです。

奈良地区には、奈良小学校とそこから分かれた奈良の丘小学校があります。中学校は、奈良中学校とあかね台中学校です。毎年、奈良地区では、地域の皆さんと中学生がよりよいまちづくりについて、意見交換会を行っています。今年度は、8月19日に開催され、活発な話し合いがされました。

まちづくりに子どもたちの意見を取り入れるとともに、地域の一員として積極的にかかわってもらうことが一つの目的です。本校の子どもたちも、地域社会の一員として貢献できる人材に成長してほしいと思います。

